

1. 計画策定の背景と目的

本町の公共交通の現状

和水町には、産交バス(株)の路線バス（7路線）、高速バス、(有)高瀬合同タクシー及び(有)三加和タクシーの民間タクシー等の公共交通が運行しており、路線バスについては、県や近隣市町村、和水町による欠損額の補填によって運行が維持されています。そのほか、特定の目的に限定した行政による送迎サービス、菊水ロマン館の温泉バスや和水町立病院の巡回送迎バスが運行されています。

本町の合併後の動き

本町は旧菊水町・旧三加和町の合併（平成 18 年 3 月に）以後、新町建設計画や総合計画等に基づき、住民の日常生活圏の拡大・ニーズの多様化、少子高齢化及び人口減少の進行などへ対応するための地域づくりを進めてきました。また、旧三加和町の「ムラづくり協議会夢ランド十町（平成 10 年 4 月発足）」では、集落の活力低下などへ対応するため、地域が主体となった取り組みも進められています。総合計画においても、自律的なコミュニティの形成を目指した取り組みが進められるものの、今後も少子高齢化・人口減少が進行し、各集落の活力のさらなる減退が予測されます。

本町の課題

現在の公共交通網は、主要施設が旧菊水町に集積するなか、旧菊水町・旧三加和町が南北に分かれた構造になっており、町内には交通空白地域も点在します。また、路線バスは利用者が減少し、今後の存続も危ぶまれています。しかしながら、自家用車を運転できない高齢者等の移動制約者の移動手段確保は、喫緊の課題であり、併せて、急速に進展する人口減少社会では、域内の日常的な人の動き等を活性化する仕組みや、分散している生活サービスや地域活動をつなぎ、生活環境を支える拠点の構築が急務の課題といえます。



本計画の目的

本業務は、住民の生活行動パターンやニーズを適切に把握したうえで、地域に必要とされる機能を集約した小さな拠点とふるさと生活集落圏のモデルを構築するとともに、小さな拠点を核とした使いやすい公共交通サービスのあり方を検討し、将来にわたり持続可能な地域公共交通体系を、総合的な視点から構築するための地域公共交通網形成計画の策定を目的とします。